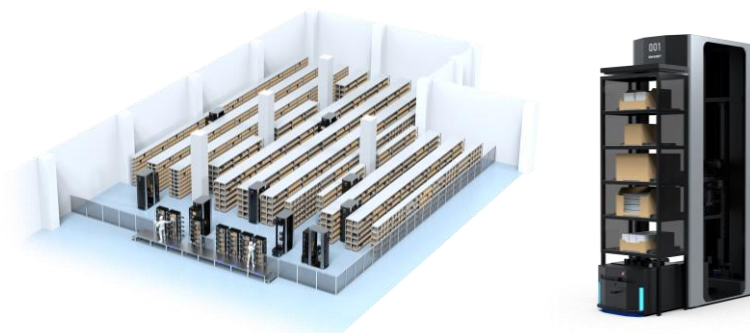


GTP（Goods to Person）方式（※1）により、ピッキング作業の大幅な効率化を実現
商品保管棚など既存の設備を活用し、稼働を続けながら設置が可能

「スリムスタッカー・ロボットストレージシステム」の受注を開始

シャープは、物流倉庫において既存の設備を活用してGTP（Goods to Person）方式の搬送システムが導入できる「スリムスタッカー・ロボットストレージシステム」を開発しました。本日9月2日より受注を開始します。



左：システム全体（イメージ）、右：スリムスタッカー搬送ロボット（イメージ）

物流業界では、ECの拡大などを背景に物流量が増加するなか、人手不足が深刻な課題となっています。物流倉庫においては、DXやロボット活用による省人化・自動化へのニーズが高まっており、なかでもロボットがピッキング作業のもとへ品物を運ぶGTP方式の搬送システムが注目されています。一方で、GTP方式のシステム導入には既存の設備を一時撤去したうえで搬送システムを設置する必要があるため、設置工事の間はその場で稼働を続けるのが難しく、導入における課題となっていました。

今回開発した「スリムスタッカー・ロボットストレージシステム」は、倉庫の稼働を続けながらGTP方式を導入できます。搬送ロボットが倉庫内を回り、内蔵の移載アームが商品保管棚から必要な品物を集めてロボットの収納棚に積み込み、ピッキング作業のもとに搬送。収納棚を切り離せる新機構により、収納棚ごとピッキング作業者に受け渡します。作業者は倉庫内を歩き回ってピッキングする必要がないため作業の大幅な効率化が図れるうえ、必要なものだけをロボットが集めた棚からピッキングするのでヒューマンエラーを抑制します。また、搬送ロボットは幅700mmのスリムな設計なので、一般的な倉庫の通路（900mm〜）をそのまま通行可能です。商品保管棚など既存の設備を活用してシステムを構築できるので、倉庫の稼働を続けながら導入が可能です。小規模な倉庫や天井高の低い倉庫などでも導入しやすいうえ、段階的に設置することもできます。これまでGTP方式の導入が難しかった倉庫や、稼働の停止が困難な現場での省人化・自動化を実現します。

なお当社は、本年9月10日（水）から12日（金）まで東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催される「国際物流総合展2025 第4回 INNOVATION EXPO（※2）」に出展します。本システムを、デモンストラレーションを交えて紹介します。

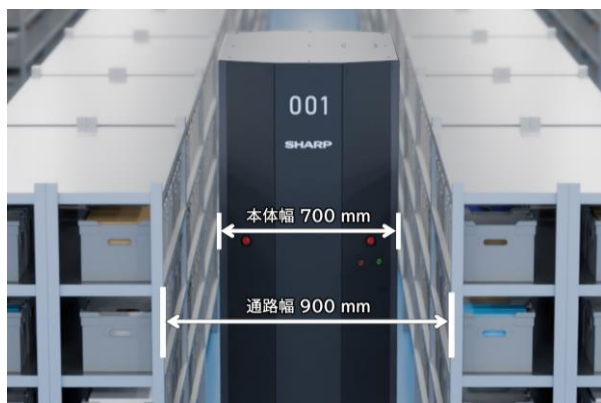
名 称	価 格	受注開始日	月産数
スリムスタッカー・ロボットストレージシステム	個別見積もり	2025年9月2日	受注生産

■ 主な特長

1. 搬送ロボットがピッキング作業のもとへ品物を運ぶGTP方式の搬送システム
2. 既存の設備を活用してシステムを構築できるので、倉庫の稼働を続けながら設置可能
3. 収納棚を分離してピッキング作業者に棚ごと受け渡せる新機構を採用

※1 GTP（Goods to Person）方式とは、自動搬送ロボットがピッキング作業のもとへ商品棚やパレットを運ぶ作業方式のことです。
※2 詳細は、「国際物流総合展2025」の公式サイト（<https://ie.logis-tech-tokyo.gr.jp/>）をご覧ください。

■「スリムスタッカー・ロボットストレージシステム」(稼働イメージ)



本体幅700mmのスリムな設計により、
900mmの狭い通路幅を走行可



移載アームが商品保管棚から荷物をピックアップし、
収納棚へ格納



収納棚を分離してそのまま
ピッキング作業者に受け渡し



必要な荷物だけが集められた収納棚から
迷わずピッキング

-
- 【 ウェブサイト 】 <https://corporate.jp.sharp/> (画像ダウンロード <https://corporate.jp.sharp/press/>)
【 本 社 】 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地
【 お客様お問い合わせ先 】 スマートビジネスソリューション事業本部
ロボティクス事業統轄部 ソリューション推進部
AE_SALES_PROMOTION@sharp.co.jp